

# 山響ファンクラブ 平成 21 年度活動報告

## 【実施事業】

事業内容	実施細目	実施状況
(1) 山響が主催もしくは関与する行事、活動への支援	・ 第 200 回定期演奏会 お祝い贈呈	'09.11.22 実施
	・ 事業仕分け(行政刷新会議)への パブリックコメント参加	'09.12月 実施
	・ オーケストラの日イベント ボランティア参加	'10.03.28 実施
(2) 山響演奏会のゲネプロ見学会の開催	・ 定期 8 回& モーツァルト定期 3 回のゲネ プロ見学	全 11 回実施
(3) 会員と山響関係者の交流 及び会員相互の交流	・ 楽団&FC 合同芋煮会	'09.11.03 実施
	・ 楽団&FC 合同忘年会	'09.12.17 実施
(4) 他の管弦楽団体の愛好者 組織との交流	・ 第三回 JOFC 高崎大会参加 (会員 9 名)	'09.10.17-18 実施
(5) 会報「山響ファンクラブレ ター」の発行	・ 3 回発行	6 月, 9 月, 12 月 発行
(6) ホームページ運営等の広 報活動	・ ホームページによる情報提供	随時実施
(7) その他目的を達成するた めに必要な事業	・ 山響ファンクラブ総会	'09.06.28 実施
	・ 会則の改正	パブリックコメントまで 実施、22 年度改正へ

## 【会員数】

	会員数 (会費納入者)
平成 20 年度末	63 名
平成 21 年度末	90 名

## 【H21 年度総括】

主に会報の充実に力を注ぎ、読み応えある分量と会員の執筆参加により、全ての会員が山響を楽しみ、相互に結びつく場となることをめざした。会員の一体感や積極参加はまだまだだが、遠方の会員や楽団員さん方からも好評を頂いている。また、山形交響楽団が定期演奏会 200 回目をむかえる節目の年にあたり、終演後の楽団関係者による祝賀会の席において、お祝いとして譜面台（音楽教室事業で主に使用）の贈呈を行った。芋煮会、忘年会など毎年恒例のイベントも予定通り実施した。ゲネプロ見学会では、ときおり参加人数の不振がみられ、会員活動の活発化が課題である。

## 【H22 年度にかけて】

8 月、アフィニス音楽祭が初めて山形で行われ、ホストオーケストラの山響や多くの音楽家と交流を楽しみ、通訳など若干の役に立つことも出来た。  
引き続き会報の充実にとりくみ、山響 FC の 10 周年記事なども通じ、会員の参加を深めていく。  
昨年度に続く年次総会の定着に併せ、FC 会員の交流の拡大を図るとともに、11 月 12 月に固まった楽団員さんとのイベントを年 3 回分散させる方向で調整し、通年の活動充実を目指している。